

美濃加茂市木曾川右岸用水土地改良区維持管理計画書

[沿革] 昭和44年4月3日 岐阜県指令農計第16号 認可
昭和56年5月29日 岐阜県指令農計第3号 変更
令和2年8月4日 岐阜県指令農計第1290号 変更

美濃加茂市木曾川右岸用水土地改良区維持管理計画を次のように改正する。

第1章 地域及び地積

第1節 地域

美濃加茂市は岐阜県の中央南部に位置し、木曾川の右岸および飛騨川の両岸に沿った丘陵地域である。

第2節 地積

(h a)

市町村名 \ 地目	田	畑	その他	合計	備考
美濃加茂市	767	777	-	1,544	全体計画

第2章 地域の現況

第1節 地形

本地域の標高は70m～130mで、飛騨川両岸および木曾川右岸に沿った段丘地帯が主で、その勾配は平坦部で1/500～1/1,000、山間部で1/100～1/200となっている。

地質については、平野地域では第四紀層、丘陵地帯では新第三紀層、一部山間地域では古生層からなっている。表土は一般に褐色の砂土壌で、一部赤色の壤土、埴土壌からなっている。

畑では、いちご、きゅうりなどの作物が生産され、樹園地では、梨、柿、ぶどうなどの果樹栽培が盛んである。

第2節 気象

本地域は、一般的に気候温和で冬期における降雪も比較的少ない。気温は、冬期と夏期の代表として1月8月の気温について考察すると、1月は3°C前後、8月は28°C前後を示し、月平均降水量から見た最高および最低は年により多少は異なるが、最高は6～7月の梅雨期と9月の台風時期が多く、一番少ないのは厳冬期である。全体的にみると本地域の降雨量は少ない地域である。

(1) 一般気象

美濃加茂観測所

観測期間 H24～H28	かんがい期	非かんがい期	年平均気温及び 年合計降水量
	5月～9月	10月～4月	
平均気温 (°C)	24.0	9.2	15.3
降水量 (mm)	997	772	1,769

(2) 特殊気象

美濃加茂観測所

観測期間 S51～H29	第1位	第2位	第3位
日最高気温 (°C)	H6年8月7日	H19年8月16日	H27年8月1日
	39.5	39.0	38.6
日最大降水量 (mm)	H4年8月11日	H12年9月11日	H3年9月19日
	305	216	206

(3) 気温

平成24年～28年 美濃加茂市 日平均気温 (°C) 気象庁データより

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
24年	2.7	3.0	7.3	13.2	18.8	21.9	26.6	28.0	24.7	17.8	9.7	3.8	14.8
25年	2.4	3.4	9.3	12.9	18.9	23.1	27.1	28.3	24.0	19.5	9.9	4.7	15.3
26年	3.1	4.2	8.1	13.7	18.7	23.4	26.5	26.2	22.6	17.9	11.8	3.8	15.0
27年	3.4	4.2	8.6	14.8	20.7	22.1	26.1	27.8	22.3	16.9	13.0	7.7	15.6
28年	4.1	5.0	9.3	14.9	20.0	22.5	26.4	28.0	24.7	18.7	11.4	6.5	16.0
平均	3.1	4.0	8.5	13.9	19.4	22.6	26.5	27.7	23.7	18.2	11.2	5.3	15.3

(4) 降水量

平成24年～28年 美濃加茂市 月合計降水量 (mm) 気象庁データより

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	端数整理
24年	29.0	106.7	216.5	134.5	69.5	184.0	242.0	151.0	257.5	63.5	81.0	111.0	1,646.2	1,646
25年	48.0	79.0	44.5	153.5	95.5	91.0	259.5	225.0	231.5	174.5	56.0	48.5	1,506.5	1,507
26年	47.5	105.0	193.5	84.0	151.5	155.5	131.5	344.0	159.0	141.0	112.0	98.5	1,723.0	1,723
27年	111.0	38.0	141.5	158.0	130.5	219.5	212.5	427.0	264.5	106.0	178.5	106.5	2,093.5	2,094
28年	73.0	106.5	128.5	204.5	157.5	222.0	140.5	119.5	345.0	183.5	96.5	96.5	1,873.5	1,874
平均	61.7	87.0	144.9	146.9	120.9	174.4	197.2	253.3	251.5	133.7	104.8	92.2	1,768.5	1,769

第3節 水利状況

(1) 用水状況

昭和40年代まで、この地区の用水源は主として天水、小河川及び小溜池であり、この大部分は旱天時には渇水した。このため、農業経営に大きな不安が生じていた。その後水資源公団（現在の水資源機構）により木曽川総合用水事業が施工され、これに伴う木曽川右岸用水事業による補給水の確保と、併せて岐阜県により施行された土地改良事業により農業経営の安定が図られた。

木曽川右岸用水施設分水量

幹線及び支線名	最大通水量 (m ³ /s)
山之上用水路	0.418
若狭	0.208
森山支線	0.791
森山用水	0.404
羽生用水路	1.700
坂祝用水路	2.530
米田用水路	0.273
米田支線	0.370
合計	6.694

河川自流水

揚水機場（ポンプ場）

名称	取水河川	取水量(m ³ /s)
山之上本地揚水機場	加茂川	0.013
落合揚水機場	蜂屋川	0.049
上伏木揚水機場	蜂屋川	0.08
下沖揚水機場	川浦川	0.16

慣行水利権表より

(2) 排水状況

昭和40年代までは、水田では田越しといわれる手法により用水が貴重に利用され、流末でわずかな余水が普通河川に入り放流されてきたが、その後の土地改良事業により、圃場毎に取水口と排水口が設置され、排水路も完備され農業構造の改善が図られた。

第4節 耕地面積

美濃加茂市農業振興地域整備計画書 (H29.5.17)

(h a)

田	畑	果樹園	農業用施設用地	総面積
916	337	438	16	1,707

参考 田畑別平均一戸あたり耕地面積 (2015年農林業センサスより)

農家戸数	地域 (h a)			一戸あたり (h a)		
	田	畑	計	田	畑	計
戸 1,565	786	489.0	1,275.0	0.50	0.31	0.81

第3章 維持管理計画

第1節 目的

本地域の用水は、木曾川総合用水事業で建設された岩屋ダムを取水源とし、加茂郡白川町地内の飛騨川右岸に取水口を設けて取水された用水は、白川導水路延長約9.9kmを経て、川辺町下麻生地内で右岸幹線水路と左岸幹線水路に分水されている。

右岸幹線水路は延長8.2kmで、美濃加茂市内の蜂屋調整池に導入され、左岸幹線水路は延長5.5kmにて八百津町地内の上田調整池に導水されている。これらの施設は水資源機構が管理している。

調整池以降は7用水路、32支線・分線水路により各ほ場に給水されているが、1路線が複数市町に跨ることがあるから、右岸用水受益地の2市5町で木曾川右岸用水土地改良区連合を組織して管理し、これらから各圃場までは県営による土地改良事業で造成された施設で給水している。

当土地改良区では、導水路・幹線水路及び支線を除いた用水路の維持管理を行い、用水の効率利用による農業経営の合理化、農業生産の向上、増大を図ることを目的とする。

第2節 かんがい施設関係

(1) かんがい施設の種類、規模

(ア) 用水路（パイプライン）

φ75～φ500 L=342km 詳細は別紙調書のとおり

(イ) 揚水機場（ポンプ場）

名称	場所	取水河川	揚水機等						設置年	維持管理方法	残耐用年数	備考
			種類	口径	台数	能力	全揚程	揚水量				
山之上本地揚水機場	山之上町本地地内	加茂川	水中ポンプ	φ150	2	11kw	15.0m	2.31m ³ /min	H17年	委託 山之上管理区	12年	
落合揚水機場	蜂屋町中蜂屋地内	蜂屋川	水中ポンプ	φ250	3	15kw	8.5m	6.21m ³ /min	H11年	委託 蜂屋管理区	6年	H28年ポンプ取替
上伏木揚水機場	蜂屋町中蜂屋地内	蜂屋川	水中ポンプ	φ250	2	22kw	12.0m	6.18m ³ /min	H11年	委託 蜂屋管理区	6年	H27年ポンプ取替
下沖揚水機場	伊深町地内	川浦川	水中ポンプ	φ150	1	22kw	26.5m	3.03m ³ /min	H8年	委託 下沖管理区	3年	

(ウ) 頭首工

名称	場所	取水河川	構造	設置年	維持管理方法	残耐用年数	備考
山之上本地頭首工	山之上町本地地内	加茂川	空気膨張式 空気式ゴム引布製起状ゲート L=4.8m H=0.85m	S59年	委託 山之上管理区	△9年	
落合頭首工	蜂屋町中蜂屋地内	蜂屋川	油圧転倒ゲート L=10.1m H=1.4m	S49年	委託 蜂屋管理区	△19年	
上伏木頭首工	蜂屋町中蜂屋地内	蜂屋川	空気膨張式 空気式ゴム引布製起状ゲート L=10.0m H=2.05m	H1年	委託 蜂屋管理区	△4年	

※ 施設は美濃加茂市所有 操作は土地改良区が行う。

(2) 管理の方法

別に定める美濃加茂市木曽川右岸用土地改良区施設管理規程及び施設操作規程による。

(3) 配水の時期及び方法

木曽川右岸地区全体で、かんがい期(4月21日～9月30日)にあつては最大7.0m³/s、非かんがい期(10月1日～4月20日)にあつては最大0.9m³/s、年間総取水量4,190万トンの範囲内で円滑かつ効率的な配水に努める。

(4) かんばつ時における処置

水は限りある資源との見地から、水稻栽培では中干の慣行と常に自主節水を呼びかけると共に、異常気象時には管理配水委員会(水資源機構、木曽川右岸用土地改良区連合及び各土地改良区等のメンバーで構成)で節水対策にて話し合い、地元の管理区長及び農業用水管理人等と協力して節水の徹底を図る。

(5) 他の農業水利団体との関係

所属する木曽川右岸用土地改良区連合と連携し取水を行う。

第4章 維持管理費

H31年度予算

項 目	金 額 (千円)	備 考
事業推進費	1,310	維持管理組織推進費 (各管理区へ)
需用費	15,000	揚水機場電気料金、農業用水施設修繕費
委託費	590	農水管更新工事設計業務委託費
工事請負費	14,500	農水管更新工事費
交付金	1,882	土地改良施設維持管理交付金 (各管理区へ交付)
合 計	33,282	

※物価の変動及び維持管理の方法の変更、又は臨時に要する経費の増減により、毎年変動する。

第5章 効果

土地改良施設の公益的、多面的な機能を有効に活用するため、美濃加茂市と施設管理の応分な負担を調整するとともに連携協力体制を整え、施設の効果的、効率的な維持管理による地域のコミュニティーを築くと共に農業生産の安定を図り、農耕地域の特性である自然環境の保全や災害の防止に努める。

第6章 環境との調和

- ・揚水機場施設機器の塗装は自然になじむ色彩で塗装する。
- ・揚水機場内外の環境整備やポンプ室内の土砂撤去

第7章 図面

第1節 木曽川右岸用水区域図

別紙

第2節 用水(パイプライン)関係図面

別紙

第3節 道路・排水路は美濃加茂市管理のため省略